

平成29年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞事例の概要

【農林水産大臣賞】

日本一楽しい村宣言！ 豊かな自然や伝統文化を生かした体験を提供

受賞団体：「山の内地域づくり協議会」（山形県村山市）

◆むらづくりの背景・経緯

村山市は、山形県のほぼ中央部に位置し、北は尾花沢市と大石田町、南は東根市と河北町に接し、さらに西は葉山を境界にして寒河江市、大蔵村と接している。

山村集落である「山の内地域」は、地域住民の高齢化やコミュニティの衰退、小学校の閉校により、地域住民の危機意識と共に、自ら「なんとかさんなね」という意識が芽生えた。さらに、ワークショップの開催により地域の課題や解決策、実践方法について話し合った結果、自然や郷土料理、伝統行事といった豊富な地域資源を再認識し、次世代へ伝え残さなければという「思い」が出てきた。そして、平成20年に旧山ノ内小学校校舎を宿泊・体験型の「自然体験交流施設やまばと」として整備したことにより、地域の気運を一気に高めた。

◆むらづくりの内容

○農業生産面

産直においては、地域の山菜・きのこ、高冷地野菜と、市街地の産直とは差別化したものを提供、また、お茶スペースを設け、山菜等の試食、調理方法などの情報等の提供により、市内のみならず仙台圏からもお客様が訪れている。

加工施設においては、各家庭に受け継がれている漬物や郷土料理を発掘するために「おらが自慢の漬物大集合」等のイベントを企画しながら商品化し、年間を通じて加工販売している。特に冬期間の収益につながっている。



直売所の様子

○生活・環境整備面

「やまばと」を拠点に、体験事業や教育旅行の受け入れを展開することで、高齢者の生きがいがづくり、世代間交流等のコミュニティ力向上に役立っており、地域活性化につながっている。

また、県内外からのファンやリピーターを集め、交流拡大や農業振興、経済活性化に大きく寄与する結果となっている。具体的には、体験事業に携わることが、農家や林家（炭焼き、山菜採り）、主婦（郷土料理）など地域内の老若男女を結びつけ、地域内のコミュニティ力向上が図られ、高齢者の役割が見直される結果となった。



上：自然体験交流施設やまばと

下：農作業体験の様子